

Title	表紙ほか
Author(s)	
Citation	独逸文學研究 (1962), 10
Issue Date	1962-01-31
URL	http://hdl.handle.net/2433/186286
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

獨逸文學研究

報告第10號

1961

京都大學教養部獨逸語研究室

目次

リルケ最晩年の詩……………	高安國世(二)
——特にフランス語の詩をめぐって——	
「オペラ『マハゴニー』への註釈」の位置……………	野村修(三)
——討論のひとつの材料として——	
最近のトーマス・マン研究から……………	吉田次郎(六)
独逸語学覚書……………	古松貞一(20)
ドイツ語学最近の動向……………	塩谷饒(1)

獨逸文學研究

報告第10號（非売品）

1962年1月25日印刷

1962年1月31日發行

編集兼發行者

印刷者

京都大學教養部獨逸語研究室

代表者 吉田次郎

阿部幸一

京都市中京區丸太町通小川西入

株式会社 石田大成社印刷所